

今月の  
テーマ

## 「欲しい物」と「必要な物」



何を贈そう…私自身、物欲の塊である、あれも欲しいこれも欲しいし、あげたらキリがない様だ。若かりし頃は、間題行動と知りつつ欲望に負けて買ったものだった…今完全に過去形に出来ない無い私。ここだけの話だが、女房様のお懸念を承れて、買った物の値段を「まかしたりもしたのだ。過去の話です…」

幼少の頃の家庭環境は他と比較しても、相当に貧困な状況で靴下までもがツギあてされていた。友達が普通に持っている物も買ってもらえないなかつたし、幼稚園にも行かせてもらえなかつた。欲しい物どころか、必要な物さえ買つてもらえなかつたことが、後の物欲の強さとなつたのかもしれないなあ…。

物欲が全て悪いことのように聞こえるかもしないが、必ずしもそうではない。なぜなら、それを手に入れるために努力したり、貯蓄に励むきっかけになつたり、労働意欲につながつたり、節約の意識を育てたりとする。ただし、ここで注意しなければならないのは、欲しい物だけを買つ続けていたらキリがないし、いくらお金があつても足りない。「欲しい物」が「必要な物」とは限らない。單純なことのようだな物「」なんかを改めて考えてみたいものだ。

何を贈そう…私自身、物欲の塊である、あれも欲しいこれも欲しいし、あげたらキリがない様だ。若かりし頃は、間題行動と知りつつ欲望に負けて買ったものだった…今完全に過去形に出来ない無い私。ここだけの話だが、女房様のお懸念を承れて、買った物の値段を「まかしたりもしたのだ。過去の話です…」

幼少の頃の家庭環境は他と比較しても、相当に貧困な状況で靴下までもがツギあてされていた。友達が普通に持っている物も買ってもらえないなかつたし、幼稚園にも行かせてもらえなかつた。欲しい物どころか、必要な物さえ買つてもらえなかつたことが、後の物欲の強さとなつたのかもしれないなあ…。

物欲が全て悪いことのように聞こえるかもしないが、必ずしもそうではない。なぜなら、それを手に入れるために努力したり、貯蓄に励むきっかけになつたり、労働意欲につながつたり、節約の意識を育てたりとする。ただし、ここで注意しなければならないのは、欲しい物だけを買つ続けていたらキリがないし、いくらお金があつても足りない。「欲しい物」が「必要な物」とは限らない。単純なことのようだな物「」なんかを改めて考えてみたいものだ。



生活 知恵袋

生活  
知恵袋

生活にナニカト役立つ連載コラム  
つぶやき「がんちゃん」の  
せいかつ  
ちえふくろ



Vol-11



■プロフィール  
さいとう ひろかつ  
**齋藤廣勝**

株式会社  
トータルライフサポート代表取締役  
日本FP協会会員

■CFP・サーティファイドファイナンシャルプランナー  
■1級ファイナンシャルプランニング技術士  
■日本商工会議所 年金・退職金等認定講師  
■住宅ローンアドバイザー

## 保険と暮らしの相談センター

お気軽にお相談ください。

- 家計の管理 ●お金の運用
  - 保険やローンの選択・見直し
  - 年金 ●教育 ●住宅、相続etc…
- 皆様の生活設計をより良いものにするためのお手伝いをいたします。

**セイセイ** 株式会社  
トータルライフサポート  
〒010-0916 秋田市東北3丁目17-22  
●営業時間：9:30～19:00 ●定休日：水曜日  
**018-827-7611**  
**018-827-7610**

無料相談会  
受付中!  
お問い合わせ

保険と家計の  
まとめて診断致します。

## 欲しい物と必要な物

「欲しい物」だったのか「必要な物」だったのか?この言葉だけで、ドキッとする方も多いはず…。大なり小なりそれに心当たりはあると思う。買ってしまったから、何でそんな物を買ってしまったのだろう?と後悔したりもあるだろう。

欲しい物は趣味に関する物だったり、オシャレに関する物だったり、人それに迷うと思う。自称「ほつこられたまぐら」の私も、欲しい物の数は決して皆さんに負けではない。勝ち負けじゃないが…。欲しい物を買うな、という訳ではない。大事なのは限りあるお金の使い道における優先順位だ。

「必要な物」を極端な形で定義づけると、人が生きていこう上で欠かせない物といえるだろうか。学生には鉛筆やノートだったり、サラリーマンにはスマートフォンやバッグ、家庭には洗濯機や洗濯機など衣食住に関する様々な物がある。その他、健康を維持するための物だったりとする。

問題なのは、「必要な物」にもかかわらず「欲しい物」に負けてしまつた結果、健康が損なわれたり、不自由な生活を強いられてしまうことだ。

## 物はそれ自体が目的ではない

必要な物だとしても、食物などは別として、多くの場合それ自体が目的ではない。たとえば車の場合、通勤などの移動する手段としての目的が主だが、仕事に使う場合や、レジャー目的では必要とする車種は変わってくる。冷蔵庫、洗濯機なども家族構成などで違うてくるはずだ。であれば、購入する機器を選択する場合、高機能・高性能・大容量が良いかという「必ず」もそうではない。つまり、それぞれにとっての価値は当然に変わってくる。購入する機器も

それに合わせた物でなければならぬ。しかし、インテリアやデザイン性を否定するわけではない。いくら価格が安くても消費が悪かったり、消費電力が大きくては元も子もない。「安物買ひの錢失い」にならないためには、單に安いやいいつものでもない。

かつて我が家で買った始めての電子レンジはグリル・オーブンお任せセンサー電子レンジなるもので15万円もした。その多機能な物をどれだけ使いこなしたかというと、「??」でな具合だ。

購入する前に「必要とする目的がどこにあるのかを見極め、無駄のない購入を心がけたい。購入する前に「必要とする目的がどこにあるのかを見極め、無駄のない購入を心がけたい。」

## 割り切つた買い物

以前にお手伝いさせていただいた26歳の若一方の車は、12年前に登録された1000ccの車だ。本人いわく、新車である必要も、大きな車である必要もないと云う。運動にさえ使えればいい。まさに足代わりで、消耗品である車にお金は掛けたくないのだといふ。われわれの年代は違うように車を「ドレッスアップ」、自慢し合っていた向きもあったのだが…。

近年、若者のマイカー離れが進んでいると時々報道されており、需要の見込みの減少が懸念されているが、若者の車に対する意識の変化の兆しは、ある意味学ばなければならぬのかも知れない。

ユニクロの商品を買うのは単に安いからではなくて「必要の機能性を満足された物であることが、車座にユニクロが成り立つやうなものかも知れない」。

## 物欲からの解放

私自身、物欲はたくさんあるし、これからもなくなりはしないと思う。ひと頃は、人より良い物を持っていることに優越感を感じ、身の丈以上の物も手にした反省もある。しかし、「10年」になりてようやくそれ以上に大切な物があることも見えてきた。

身なりを外見だけで判断し、「え?」の人にお金持もなの?と感想する嗜好をしている人を見かけることがよくある。この人は、なぜ服装や持ち物を気にしないのだろうか。服装だけではなく、車にしても趣味だつたりする。たぶん本当の豊かさは自身の心の中にあります。かも知れない。

本当の意味での物欲からの解放は、大切なものが何かを見極める力だつたり、何より自分自身に対する自信なかも知れない…。

## 我慢から我満へ

先の例に書いた12年前の古い車の持ち主の若者だが、彼は仕方なしに我慢して乗つて居た訳ではない。彼にとっては、充分に満たされているのである。そうか、「私は満足なり」だ。ならば、「これは『我慢』(我慢)していっているのではなく、「我満」(満たされて居る)であり、満足している」と云ふ。正しい国語の使い方をしろ!とお叱りを受けそうだが、思いつきながらも我ながらいい表現だと思う。良しコジツケだと満足している…

今ある物、今ある暮らし、今ある家族、今ある環境、そして今生きていることがどれほど幸せなことか。改めて自分の足元を見渡してみようじゃないか。他人と比較しなくとも「我満」(満たされている)はいっぱいあるはずだしきつと色々な「我満」が見えてくるんじやないだろ?か?



「使ってはいけないお金」と  
今はやりの家計予算の「仕分け」を考えます。